

2009/11/26 付 建設通信新聞

【JCCA 本部】RCCM 講習会の記事が掲載されました

建設コンサルタンツ協会は24日、東京・平河町の都市センターホテルで、RCCM（シビル・コンサルテイング・マネージャ）登録更新講習会を開いた。友澤武昭常任理事は、建設コンサルタンの役割・理念、技術力評価による選定の重要性などについて講話した。写真。友澤理事は、「低価格だけを売り物にしたダン



ダンピングは技術を否定

建コン協がRCCM更新講習会

ピング（過度な安値受注）は、自らの技術を否定して、産業全体の疲弊と荒廃につながる」と指摘、プロポーザル方式の拡大、技術力にウエイトを置いた総合評価落札方式の実施を、協会として発注者に求めていると述べた。

森杉壽芳日本総合研究所技術顧問が「各分野の技術課題と最近の動向」、大石久和国土技術研究センター理事長と鈴木一海外建設協会専務が午前と午後に分かれて「建設コンサルタンの現状と課題」をテーマに講演した。

RCCMの登録者数は、10月時点で2万6435人となっている。